

# 介護サービス事業所様向け

## 介護現場のシステム化へのサポート

---

ファティマは、お客様と共に

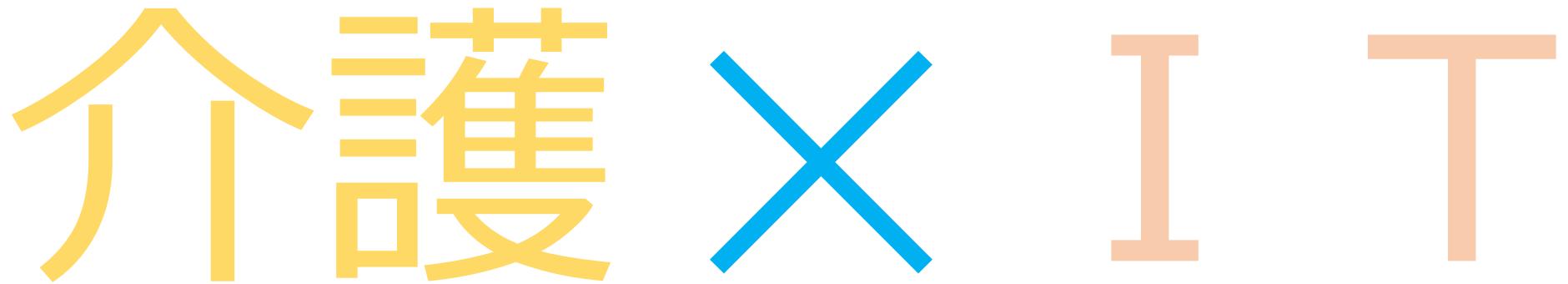
SYSTEM IMPLEMENTATION SUPPORT

# 介護現場の未来を 共創します

介護現場のシステム化を「伴走」サポートします



これからの時代は、介護とＩＴは必要不可欠



でも、ＩＴは良く分からぬ。。。と悩みがある

これからの時代だからこそ

**伴走**するサポートは重要！

伴走：組織が抱える課題解決や目標達成に向けて、寄り添いながら支援すること

これから先の将来抱える可能性のある悩み（痛み）

## 多くの介護現場が抱える「3つの痛み」



### 記録業務の負担

ケアに集中したいのに、日々の記録や報告書作成に追われ、残業が常態化している。



### 人材の定着難

業務の煩雑さとアナログな環境がスタッフの疲弊を招き、離職リスクを高めている。



### 情報共有の壁

多職種間でのリアルタイムな情報連携が難しく、ヒヤリハットの原因になっている。

# | システム導入を失敗しないために

高額なシステムを入れても、現場が楽にならない理由

- ✓ 「導入」がゴールになっている

現場の運用フローが変わらなければ、業務は減りません。

- ✓ 現場の声を無視した選定

「使いにくい」「操作が難しい」と現場が拒絶反応を示します。

- ✓ 導入後のサポート不足

トラブル時に相談できる相手がおらず、結局紙に戻ってしまう。



# 私たちは 「ベンダー」ではなく 「パートナー」です

単にソフトを販売して終わりではありません。  
貴事業所の「デジタル推進チーム」として、  
現場にシステムが定着できるよう支援します。

- ✓ 現場業務の深い理解
- ✓ スタッフ一人ひとりへの丁寧な指導
- ✓ 運用開始後の継続的な改善提案



# 伴走のロードマップ



## 業務の再認識

様々な情報がどのように業務に紐づいているかヒアリングしながら再認識できるようご協力します。



## 課題の共有

業務内容を改めて認識することで見えてくる課題をお客様と共有し解決に向けて検討します。

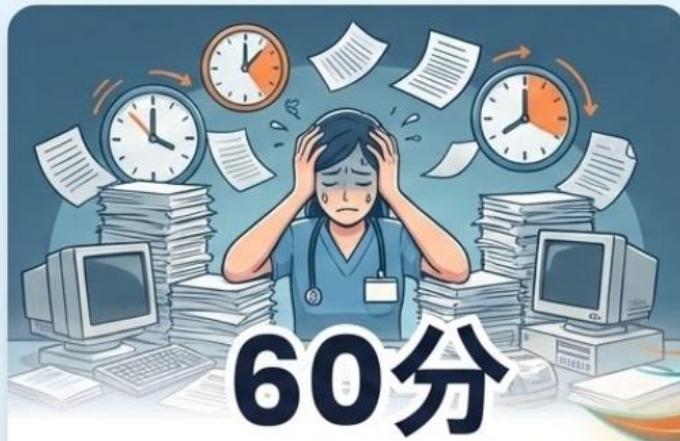


## 解決への支援

アナログもデジタルも駆使し課題解決に向けて伴走支援を致します。

## | 導入効果のイメージ

記録業務にかかる時間を大幅に削減し、本来のケアへ



導入前の平均残業/日

手書き転記や二重入力が多発

20分

伴走支援後の平均残業/日

40分の時間を創出！



株式会社 ファティマの  
Quickeあについて



# 導入実績

※ 全国導入箇所地図（2022.12時点）

## ■導入範囲

全国

## ■主な導入のある都道府県

東京、千葉、埼玉、神奈川、群馬、新潟  
北海道、愛知、岐阜、大阪、奈良、京都  
岡山、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本  
宮崎、鹿児島、沖縄

## ■導入法人数

約 650 法人

## ■導入事業所数

約 2000 事業所以上

## ■対応サービス

在宅サービス（全般）  
施設サービス（全般）  
地域包括支援センター  
シニア向け有料老人ホーム専用システム



全国2000以上の事業所でご利用いただいております



# Quickけあサポート体制及びサポート内容

長年、培ってきた知識とノウハウでお客様をサポートいたします。

## ヘルプデスク

日々の業務でご不明な点があればお電話・PCの遠隔操作にて解決にあたります。

## 繋がりやすいコールセンター

請求時期など回線が込み合う時期も受付方式での対応により繋がりやすくなっています。（受付の場合は、折返しの対応となります）



## 遠隔操作で操作もラクラク

PC操作が苦手な方も遠隔操作でサポート（委託先のみ）



**サポート対応時間：**平日 9時00分～18時00分

**時間外：**問合せツールにて緊急性の高い問合せに対応しております

**ヘルプデスク拠点：**福岡（博多）

働き方改革により弊社のサポートスタッフは、在宅ワークでも対応しております。

## ■ バージョンアップ

### 介護保険制度改定

3年に1度の制度改定及び、地方自治体独自の総合事業対応などは全て保守費用内で対応しております。バージョンアップは弊社側で支援しております。

#### <近年の制度改定対応実績>

**令和元年10月：**消費税増税対応

**令和2年6月：**通所サービス系のコロナ臨時対策

**令和5年4月：**サービス提供票交換プログラム対応

**令和3年4月：**介護報酬制度改定対応

**令和3年8月：**高額サービス費限度額負担の改定対応

**令和4年4月：**医療報酬制度改定対応

**令和5年10月：**インボイス制度対応

# タブレットアプリトップ画面

## タブレット画面



入力内容により  
変わるべき  
キーボード



担当範囲の選択

写真

タップで  
“写真を撮る” “見る”  
パソコンと  
共有できます



決定ボタンをタップ時  
のカーソルの動きを変更できます。  
これにより現場の動きに合わせストレスなく  
入力できます

選択している利用者の  
入力情報がピックアップ  
されます

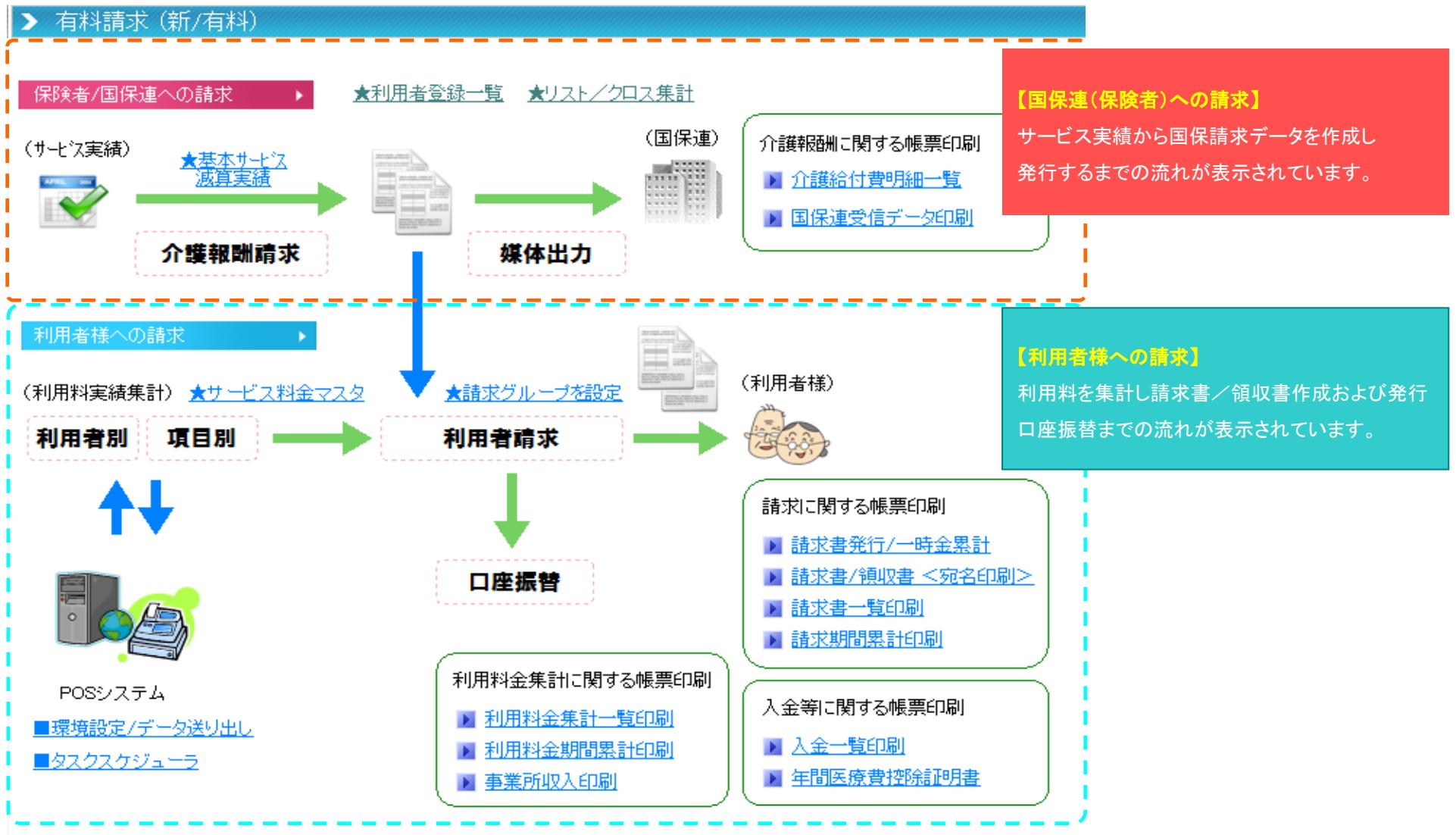
## ◎初めての方でも迷わない画面構成

ケアマネジメントの流れにそって全てのメニューが一画面に配置されている為、操作の流れを感覚的に把握することができます。

The screenshot displays the 'Quickけあ'介護保険ソフト application interface. At the top, there is a navigation bar with icons for Home, MyTop, Bulletin Board, Mail, Document Management, Schedule Data View, and Care Record. Below the navigation bar, the main menu shows '業務メニュー' (Business Menu) and '運用業務 -> ケアマネジメント' (Operational Business -> Care Management). A red callout box highlights the 'Care Management' section, stating: 「【ケアマネジメント】アセスメントからモニタリング総括表までのケアマネジメントに関する流れがメニューに表示されています。」 (Care Management: The flow from Assessment to Monitoring Summary is displayed in the menu). On the left, a vertical sidebar lists categories: 利用者情報 (User Information), 異動情報 (Transfer Information), 要介護認定情報 (Assessment Information), 補助割限/減免 (Subsidy Limit/Exemption), 公費 (Public Expenses), 社会福祉軽減 (Social Welfare Light Reduction), 介護情報 (Care Information), 運用業務 (Operational Business), and ケアマネジメント (Care Management). The main content area is divided into several sections: 1. **ケアマネジメント**: Shows a flowchart from 'Assessment' to 'Residential Service Plan' to 'Monitoring Summary'. It includes options for 'MDS-HC2.0', 'Residential Service Plan', and 'Comprehensive Self-Support Program'. 2. **利用票/提供票作成**: Shows a flowchart from 'Schedule' to 'Monthly Schedule' to 'User' (User) and 'Business Operator' (Business Operator). It includes options for 'Service Utilization Form/Supply Form' and 'Plan Creation User List'. 3. **介護予防情報**: Shows a flowchart from 'Basic Checklist' to 'Support Form' to 'Service Evaluation Form'. It includes options for 'Basic Checklist', 'Service Evaluation Form', and 'Support Plan'. 4. **居宅介護支援**: Shows a flowchart from 'Schedule' to 'Weekly Service Plan' to 'User' (User) and 'Business Operator' (Business Operator). It includes options for 'Service Utilization Form/Supply Form' and 'Service Utilization Form/Supply Form (Anonymous Print)'. A red arrow points from the 'Care Management' section to the 'Assessment' section in the flowchart. A large orange callout box on the right states: 「「予防給付」を選択すると 介護予防ケアマネジメントの メニューに切り替わります！」 (When you select 'Preventive Payment', it will switch to the 'Care Prevention Care Management' menu!). Another teal callout box at the bottom right states: 「【利用票／提供票作成】 週間サービス計画表から利用票/提供票までの スケジュールに関する流れがメニューに表示されています。」 (Utilization Form/Supply Form Creation: The flow from Weekly Service Plan to Utilization Form/Supply Form is displayed in the menu.).

# ◎初めての方でも迷わない画面構成

操作性を重視したメニュー構成になっており、初めての方でも請求フローに沿って業務を進めることができます。



最後まで御覧いただきまして  
誠にありがとうございます。